

E報-172  
七-45

研究機関：広島大学

研究課題名	うつ病・躁うつ病・難治性うつ病の診断・治療法の創出のための脳機能画像研究
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科 教授 岡本 泰昌
研究期間	2009年8月3日(倫理委員会承認後)～ 2024年3月
対象者	H21(2009)年8月から H30(2018)年4月の間に、広島大学病院精神科で研究に参加された患者および健常ボランティア。
意義・目的	精神医学分野の研究に真の飛躍をもたらすためには、研究リソースを今まで以上に充実させ、画一的に品質管理し、複数の研究機関で相互運用することが重要との認識が広まりつつあります。さらには、広く研究者が利用できるような、自由閲覧可能なデータベースの構築が、精神医学分野における研究の創出・推進をもたらす可能性が非常に高いと考えております。
方法	本研究は、過去に研究用に撮像し連結可能な匿名化をされたMRIデータおよび研究参加当時の質問紙・行動課題データを、完全に個人を識別できないようにした上で、自由に閲覧可能なデータリソースとして、東京大学医学部附属病院精神神経科・独立行政法人科学技術振興機構バイオサイエンスデータベースセンター・理化学研究所脳科学総合研究センターないしこれらが指定する機関によって管理・運営されるデータベースに対して提供致します。加えて、国際電気通信基礎技術研究所によって管理・運営されるデータベースに対して提供いたします。当データ公開システムは、公開申請の後に承認された国内外の研究者に対してデータが公開されます。
共同研究機関	東京大学大学院医学系研究科 精神医学分野 国際電気通信基礎技術研究所
個人情報保護について	データは全て新たに付された符合との対応表を残さない匿名化により、完全に個人の特ができませんようにします。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究にデータを提供したくない場合はH30(2018)年12月31日までにお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5814 広島大学病院 精神科 教授 岡本 泰昌 講師 岡田 剛